

(2) 対策

ア 数値目標

項目		現状値	目標値	目標値の考え方	出典
対県標準化死亡比 最大の地域と最小の地域の 比較倍率		1.28 倍 (2017～21 年)	1.20 倍 (2025～29 年)	過去5年での縮小値 (0.012/年)を維持	県健康政策課 調査
現在自分らしい日常生活を 送れていると感じるがん患者 の割合		70.5% (2018 年度)	改善 (2029 年度)	現状値からの増加	厚生労働省 「患者体験調査」
がん検診 受診率	胃がん	43.2% (2022 年)	60%以上 (2029 年)	国の「第4期がん対策 推進基本計画」の 目標値と同じ値を設定	厚生労働省 「国民生活基礎調査」
	肺がん	54.4% (2022 年)			
	大腸がん	48.3% (2022 年)			
	乳がん	45.9% (2022 年)			
	子宮頸がん	44.0% (2022 年)			
がん患者の就労支援に関 する研修受講者数		40 人 (2022 年度)	年 40 人 (毎年度)	現状値と同じ人数の 研修受講者数を設定	県疾病対策課 調査

イ 施策の方向性

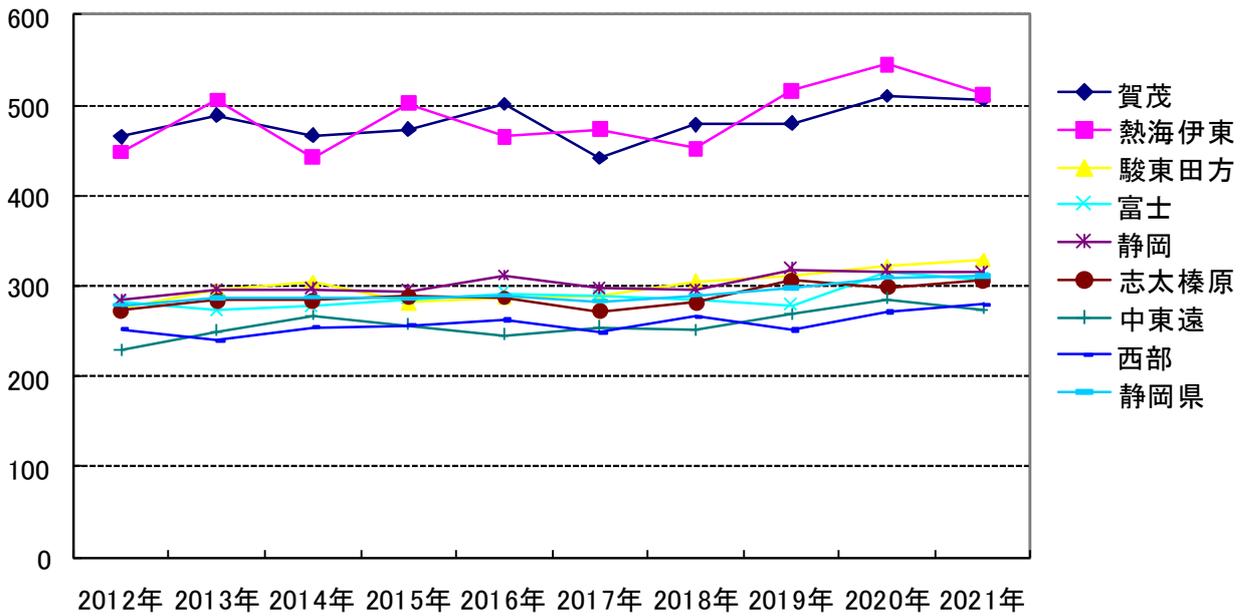
(ア) がんの予防・がんの早期発見

- 青少年を対象とした喫煙防止教育や妊婦及び乳幼児の保護者向けリーフレットの活用等を通じて、県民に対し、喫煙が及ぼす健康への影響などに関する正しい知識の一層の啓発を図ります。
- 改正健康増進法及び静岡県受動喫煙防止条例に基づき、多くの人が集まる公共的な施設、飲食店や職場等の受動喫煙防止対策が図られるよう関係機関に働きかけます。
- がん検診のメリットに関する知識の周知や、市町が対象者個別に行う受診勧奨・再勧奨、企業と連携した啓発等を推進します。
- がん検診と特定健診の同時実施や休日検診の実施、託児環境を備えるなど子育て世代が受診しやすい環境整備等、受診者の利便性向上の取組を促進します。
- がん検診の受診率向上に向け、静岡県対がん協会等の関係団体との連携によって、引き続き、対象者などを意識した適切な啓発活動を行います。
- 静岡県がん検診精度管理委員会での協議結果を踏まえたがん検診従事者を対象とした各種講習会や研修会を開催することにより、検診従事者の資質向上を図るなど、がん検診の精度の向上を進めます。
- 新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、感染症発生・まん延時等にごがん検診の提供体制を一時的に縮小した場合でも、状況に応じて速やかに提供体制及び受診行動を回復させることができるよう、平時における準備等の対応について検討します。
- HPV 9 価ワクチンの定期予防接種化を含むワクチンに対する正しい情報の提供のほか、キャ

(5) 関連図表

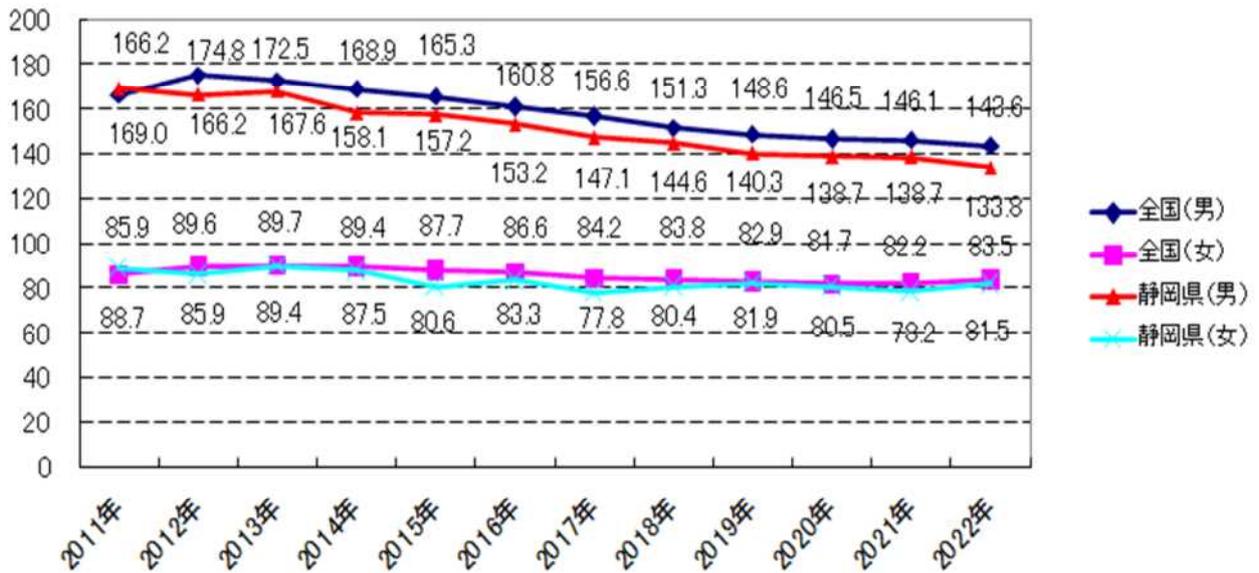
○がんによる死亡率(人口 10 万対)の推移

医療圏	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
賀茂	464.8	488.3	466.6	473.1	501.0	441.5	478.4	479.5	510.3	505.9
熱海伊東	448.2	505.8	442.3	501.6	465.0	473.2	452.1	516.0	544.9	511.3
駿東田方	275.5	295.7	304.3	281.9	286.9	289.9	305.1	311.4	321.9	328.7
富士	282.3	272.5	277.2	284.3	292.1	289.2	284.4	278.5	315.9	307.3
静岡	284.1	295.2	296.3	294.3	310.6	297.0	295.8	318.7	316.0	314.4
志太榛原	273.4	284.6	284.1	288.1	286.5	272.2	281.9	305.7	298.5	306.8
中東遠	228.6	249.8	266.8	256.5	245.3	254.0	250.4	268.3	285.5	274.1
西部	252.4	239.3	254.2	256.5	262.1	248.3	265.8	251.0	271.5	279.6
静岡県	278.8	286.6	287.2	286.1	289.8	282.8	289.5	297.8	309.5	310.7



(出典：静岡県人口動態統計から算出)

○がんによる年齢調整死亡率(人口 10 万対)の推移



(出典：厚生労働省「人口動態統計」から算出(1985年モデル人口を使用))

○がんに関する各医療機能を担う医療機関数(2023年10月16日現在)

医療圏	集学的治療	ターミナルケア		
		病院(緩和ケア病棟を有する)	診療所	薬局
賀茂	0	0	5	19
熱海伊東	0	0	9	38
駿東田方	4	2	30	137
富士	2	1	11	86
静岡	7	1	48	163
志太榛原	5	0	21	73
中東遠	2	0	26	82
西部	8	1	46	91
静岡県	28	5	196	689

(出典：県医療政策課調査)

○悪性腫瘍手術、放射線治療、外来化学療法の実施件数(2020年9月実績)

指標名	静岡県	二次保健医療圏							
		賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
病院における悪性腫瘍手術の実施件数	1,469	4	28	354	71	332	129	106	445
一般診療所における悪性腫瘍手術の実施件数	15	-	-	4	-	-	8	-	3
放射線治療(体外照射)の実施件数	10,642	-	17	4,430	197	1,849	1,076	563	2,510
放射線治療(組織内照射)の実施件数	47	-	-	19	-	21	-	4	3
病院における外来化学療法の実施件数	10,978	15	147	3,293	376	2,125	903	898	3,221
一般診療所における外来化学療法の実施件数	99	1	-	5	-	14	1	53	25

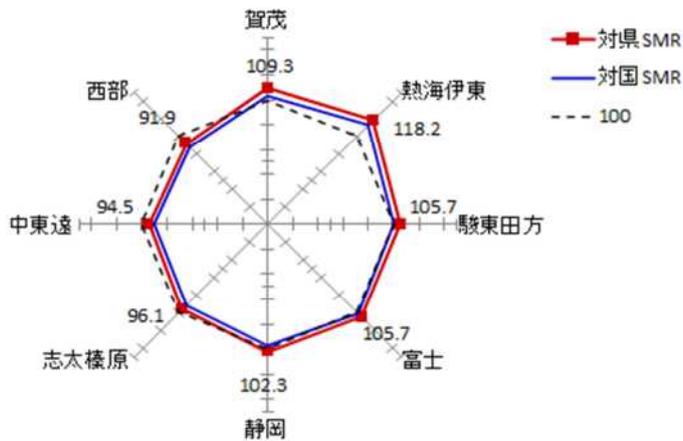
(出典：厚生労働省「医療施設調査」)

○標準化死亡比 (SMR) : がん総数、胃、結腸、直腸・S字結腸

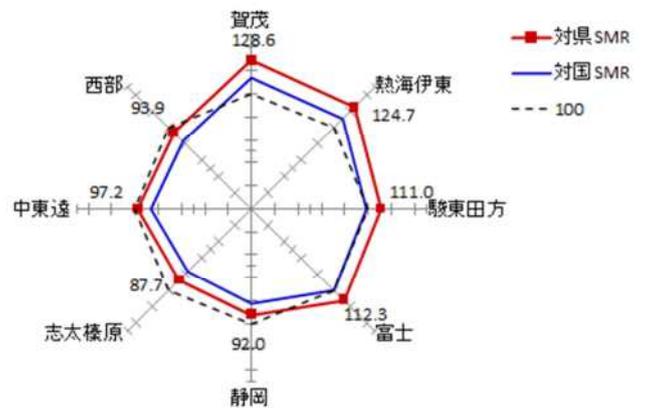
2017年-2021年	悪性新生物							
	総数		胃		結腸		直腸S状結腸移行部及び直腸	
	対県SMR	対国SMR	対県SMR	対国SMR	対県SMR	対国SMR	対県SMR	対国SMR
賀茂	109.3	103.7	128.6	114.2	117.1	111.2	107.0	105.4
熱海伊東	118.2	112.5	124.7	111.1	147.3	140.0	123.7	121.9
駿東田方	105.7	100.5	111.0	98.8	110.6	105.0	106.2	104.0
富士	105.7	100.6	112.3	99.9	110.7	105.1	116.9	114.3
静岡	102.3	97.4	92.0	81.9	101.0	95.9	99.4	97.3
志太榛原	96.1	91.4	87.7	78.0	87.2	82.8	96.2	94.2
中東遠	94.5	89.8	97.2	86.2	91.1	86.5	89.8	87.6
西部	91.9	87.4	93.9	83.4	87.9	83.4	91.0	89.0
静岡県	-	95.1	-	88.9	-	94.9	-	97.9

※網掛けは有意に多い、又は有意に少ない。

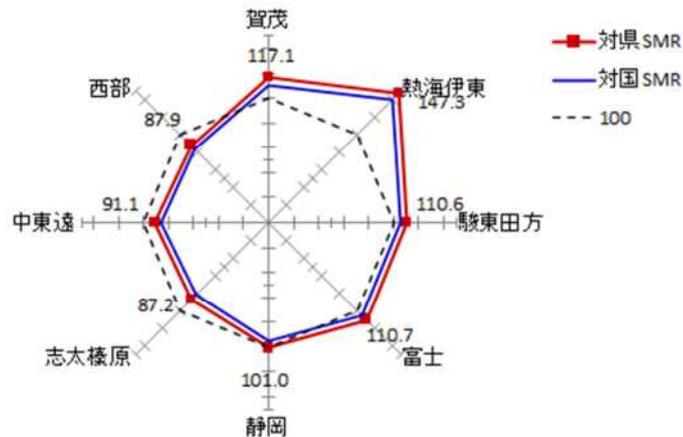
【総数】



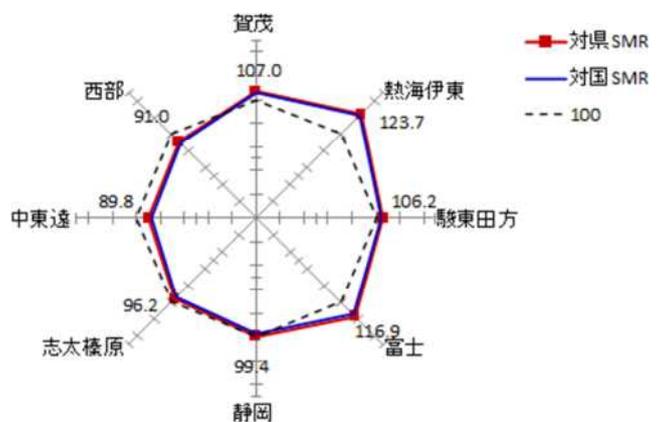
【胃】



【結腸】



【直腸S状結腸移行部及び直腸】



※図中の数値は対県 SMR

※SMR (標準化死亡比) :

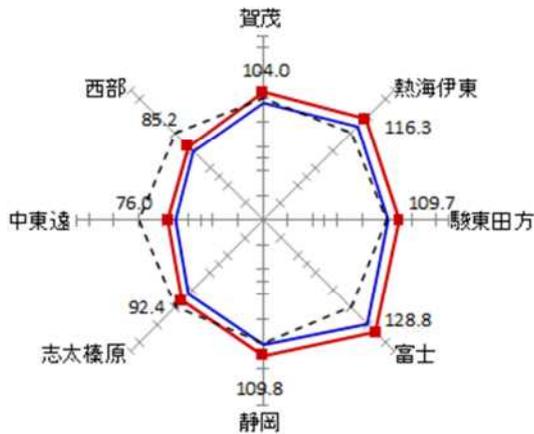
死亡数を人口で除した死亡率を比較すると、高齢者の多い市町では高くなり、若年者の多い市町では低くなる傾向があります。このような年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた死亡率が「SMR(標準化死亡比)」です。この SMR を用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正しく地域比較を行うことができます。SMR=110 の場合、「性別・年齢を調整した場合、県(国)より 1.1 倍死亡数が多い(死亡率が高い)」「県の人口構成を基準とした場合、県(国)より 1.1 倍死亡数が多い(死亡率が高い)」ということができます。

○標準化死亡比 (SMR) : 肝、肺、乳房、子宮

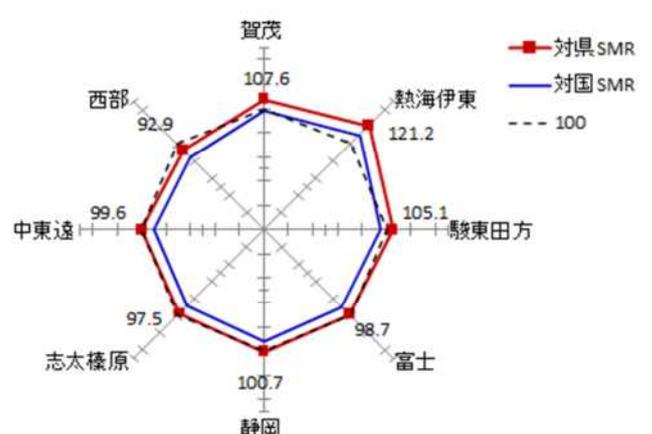
2017年-2021年	悪性新生物							
	肝及び肝内胆管		気管、気管支及び肺		乳房		子宮	
	対県SMR	対国SMR	対県SMR	対国SMR	対県SMR	対国SMR	対県SMR	対国SMR
賀茂	104.0	95.9	107.6	97.7	82.3	77.5	118.0	122.9
熱海伊東	116.3	107.5	121.2	110.4	153.0	144.5	146.2	152.3
駿東田方	109.7	101.3	105.1	95.6	102.0	96.1	117.8	123.5
富士	128.8	119.0	98.7	89.8	112.4	106.0	111.7	117.2
静岡	109.8	101.4	100.7	91.7	110.2	103.8	96.0	100.6
志太榛原	92.4	85.3	97.5	88.6	86.1	81.0	78.2	82.0
中東遠	76.0	69.9	99.6	90.4	85.9	80.6	88.9	93.3
西部	85.2	78.6	92.9	84.4	92.1	86.5	92.8	97.4
静岡県	-	92.3	-	90.9	-	94.1	-	104.8

※網掛けは有意に多い、又は有意に少ない。

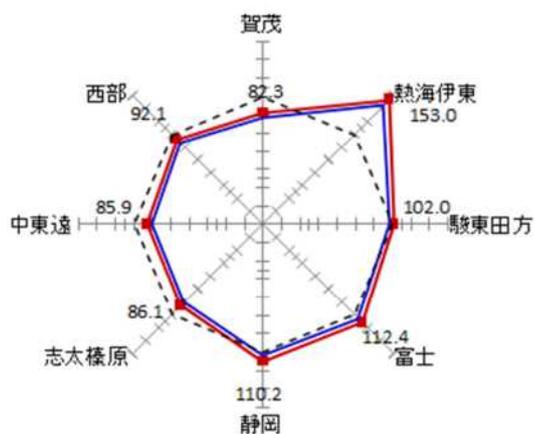
【肝及び肝内胆管】



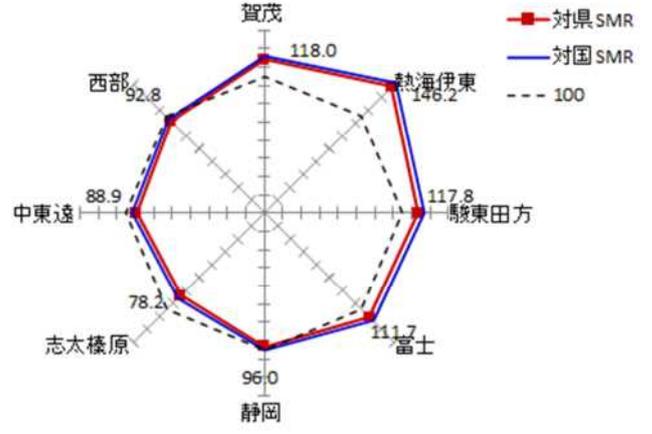
【気管、気管支及び肺】



【乳房】



【子宮】



(出典：県健康政策課調査)

○現状把握のための指標

指標の項目		実績			出典	
		静岡県	全国	時点		
△分野アウトカム▽	対県標準化死亡比 最大地域と最小地域の比較倍率（再掲）	1.28 倍	—	2017～21年	県健康政策課調査	
	がん種別5年生存率	全部位	62.2%	—	2015年	全国がん登録
		胃がん	64.4%	—		
		肺がん	38.9%	—		
		大腸がん	67.9%	—		
		乳がん	88.4%	—		
子宮頸がん	73.0%	—				
がんの年齢調整罹患率 （人口10万対）	342.7	—	2020年	全国がん登録		
県内の年間がん死亡者数	11,035人	385,797人	2022年	厚生労働省「人口動態統計」		
現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合（再掲）	—	70.5%	2018年度	厚生労働省「患者体験調査」		
△中間アウトカム▽	検診5がん検診受診率 （再掲）	胃がん	43.2%	41.9%	2022年	厚生労働省「国民生活基礎調査」
		肺がん	54.4%	49.7%		
		大腸がん	48.3%	45.9%		
		乳がん	45.9%	47.4%		
		子宮頸がん	44.0%	43.6%		
	検診5がん精密検査受診率	胃がん	73.2%	85.5%	2020年度	厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」
		肺がん	84.2%	83.4%		
		大腸がん	69.4%	71.4%		
		乳がん	86.4%	90.1%		
		子宮頸がん	64.3%	76.7%		
	検診5がん早期がん割合	胃がん	54.0%	—	2020年	全国がん登録
		肺がん	35.7%	—		
		大腸がん	55.8%	—		
		乳がん	62.8%	—		
子宮頸がん		76.2%	—			
検診5がん進行がん罹患率 （人口10万対）	胃がん	29.4	—	2020年	全国がん登録	
	肺がん	50.1	—			
	大腸がん	54.7	—			
	乳がん	26.1	—			
	子宮頸がん	5.1	—			
拠点病院等及び県推進病院の悪性腫瘍の手術件数	18,324件	—	2023年	拠点病院等及び県推進病院「現況報告書」		
拠点病院等及び県推進病院の放射線治療延べ患者数	7,529人	—	2023年	拠点病院等及び県推進病院「現況報告書」		

	拠点病院等及び県推進病院のがんに係る薬物療法延べ患者数	41,678人	—	2023年	拠点病院等及び県推進病院「現況報告書」	
	拠点病院等及び県推進病院の緩和ケアチームの新規介入患者数	3,737人	—	2023年	拠点病院等及び県推進病院「現況報告書」	
	拠点病院等及び県推進病院の緩和ケア外来の新規診療患者数	656人	—	2023年	拠点病院等及び県推進病院「現況報告書」	
	長期療養者就職支援事業におけるがん患者失職率	51.0%	—	2022年度	静岡労働局調査	
△ 個別 施策 ▽	普及啓発キャンペーンの実施状況	31/35市町	—	2023年度	県疾病対策課調査	
	指針を遵守したがん検診の実施市町数	胃がん	35/35市町	1,730/1,737市区町村	2022年度	国立がん研究センター「全国がん検診実施状況データブック」
		肺がん	35/35市町	1,730/1,737市区町村		
		大腸がん	35/35市町	1,733/1,737市区町村		
		乳がん	35/35市町	1,729/1,737市区町村		
		子宮頸がん	35/35市町	1,729/1,737市区町村		
	拠点病院等及び県推進病院の数	20施設	—	2023年度	県疾病対策課調査	
	専門医療機関連携薬局（傷病の区分：がん）の認定数	3施設	180施設	2024年1月	厚生労働省調査	
	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等及び県推進病院の割合	100.0%	—	2023年	拠点病院等及び県推進病院「現況報告書」	
	がん患者の就労支援に関する研修受講者数（再掲）	40人	—	2022年	県疾病対策課調査	
拠点病院等及び県推進病院等に勤務する医師のうち緩和ケア研修会を修了した者の割合	74.3%	—	2022年度	県疾病対策課調査		
拠点病院等及び県推進病院で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	84回	—	2023年	拠点病院等及び県推進病院「現況報告書」		